

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第128号(通算)

令和5年12月1日(金)発行

12月になりました。昔の呼び名で**自走**です。ここでの師とは、本来お坊さんのことを指すそうです。年の瀬は、お坊さんが走り回るほど忙しいということでしょうか。年の瀬になり、世間も慌ただしくなりますが、2年生はもうすぐ修学旅行です。健康に十分気をつけて、「時を守り、場を清め、礼を正す」ことをきちんと励行しましょう。そして楽しい思い出を作ることが大切です。



中高連絡会

令和5年11月10日(金)

来年度高校入試の説明を行う中高連絡会が開催されました。今年は、先日TBSの『THE TIME,』で放送されたのSDGsプロジェクト(教室の断熱改修)の取組みを生徒自らが撮影し紹介した映像や授業参観、それに1年生との懇談(一部2年生も参加)などが行われ、和やかな雰囲気で開催されました。楽しい川辺高校の雰囲気が伝わると嬉しいです。そして来年度は、受験生がたくさん来て、学校中が活気溢れることを願っています。



避難訓練

令和5年11月30日(木)

Jアラートを知ろう

期末考査の最終日、避難訓練が行われました。体育館までの避難経路を全校生徒・職員が確認した後、体育館でJアラートについての防災講話を校長が講師として行いました。

Jアラート にどう対処する?

川辺高校防災避難訓練

さまざまな情報伝達機器で同時に緊急情報を伝える「Jアラート」

Jアラートで知らせられる情報

自然災害が予想される時の**対処方法**

特別

1年生的なイメージ

関連リンク

まとめ
高校生みんなに求められるもの
または、必要なスキル

- ① 知識・理解・判断
- ② 危険予測・主体的な行動
- ③ 社会貢献・支援者の基盤

南薩の神話と隼人の物語

令和5年11月19日(日)

美術部が取り組んできた紙芝居制作・発表



国体6位入賞のなぎなた部も出演しました



(当日は、受付ボランティア、ステージ操作・演出のワークショップ研修も辺高生が参加していました)

芸 術 鑑 賞

令和5年11月11日(土)



明治・大正から昭和にかけて、鹿児島から偉大な画家がたくさん世に出ています。そのなかの一人である海老原喜之助画伯の作品を見られると言うことで、ギャラリーFで開催された作品展に行ってきました。この日は、画伯のお孫さんの海老原あかね様が画廊におられ、いろいろとお話しを聞くことができ、とても光栄でした。解説を聞くことで、鑑賞の深度がとても深まります。鹿児島にある美術館には、市立美術館を始め谷山の三宅美術館や児玉美術館など画伯の作品がたくさん所蔵されており、実際に鑑賞できる機会があります。ぜひ、皆さんも一度は絵を見てみて下さい。『エビハラブルー』とも言われる海老原画伯独特の青色の使い方を鑑賞して欲しいと思います。



【海老原作品に多く出てくる馬のリトグラフ】